

接種後の注意事項

■接種後、数日以内に現れる可能性がある症状

発現割合	症状
50%以上	接種部位の痛み、疲労、頭痛、筋肉痛
10～50%	関節痛、悪寒、吐き気・嘔吐、リンパ節症、発熱、接種部位の腫れ、発赤・紅斑
1～10%	接種後7日目以降の接種部位の痛みなど（※）

（※）接種部位の痛みや腫れ、紅斑

【症状の発現状況、時期、持続期間など】

○大部分の方が接種翌日に接種部位に痛みが出ています。

○全身倦怠感（だるさ）や頭痛、発熱など、1回目より2回目の方が、頻度が高くなる症状もあります。

○ワクチンによる発熱は、接種後1～2日以内に起こることが多いです。

○症状の大部分は、接種後数日以内に回復しています。

■下記の場合は、速やかに接種医、かかりつけ医療機関などの身近な医療機関の診察を受けてください

○強い痛み・腫れ、高熱などの症状がある場合。

○概ね3日程度症状が改善されない場合。

※ワクチン接種後、ごくまれに心筋炎、心膜炎の発症事例が報告されています。

心筋炎または心膜炎の初期症状（胸痛、動悸、むくみ、呼吸困難、頻呼吸等）がみられた場合は、速やかに医師の診察を受けてください。

■ワクチン接種後の相談先

相談内容	相談先	電話番号
ワクチンの副反応等に関する事 副反応発生時の受診に関する事	北海道新型コロナウイルス ワクチン接種相談センター (9:00～17:30)	0120-306-154
休日、夜間などに、緊急で受診の 相談をしたい場合	救急安心センターさっぽろ (24時間対応)	#7119又は 011-272-7119
その他ワクチン接種に関する事	札幌市新型コロナウイルス ワクチン接種お問い合わせ センター (9:00～18:00)	011-351-8646

裏面についても必ずご覧ください。

■ワクチンを接種してからの過ごし方

- ☑ 注射した部分は清潔に保つようして下さい。
- ☑ 接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分はこすらないようにして下さい。
- ☑ 当日の激しい運動や過度の飲酒等は控えて下さい。

ワクチンを受けた後も

マスクの着用など、感染予防対策の継続をお願いします

ワクチンを受けた方は、新型コロナウイルス感染症の発症を予防できると期待されていますが、他の方への感染をどの程度予防できるかはまだ分かっていません。また、ワクチン接種が徐々に進んでいく段階では、すぐに多くの方が予防接種を受けられるわけではなく、ワクチンを受けた方も受けていない方も、共に社会生活を営んでいくことになります。

このため、皆さまに感染予防対策を継続していただくようお願いします。

感染予防対策の具体例



密集場所



密接場面



密閉空間

「3つの密(密集・密接・密閉)」の回避



マスクの
着用



石けんによる
手洗い



手指消毒用
アルコールによる
消毒の励行